

社会資本総合整備計画

社会資本整備総合交付金

令和04年01月26日

計画の名称	つくば市 都市公園整備計画													
計画の期間	令和04年度 ～ 令和07年度（4年間）											重点配分対象の該当		
交付対象	つくば市													
計画の目標	筑波研究学園都市は、昭和38年の閣議了解から、試験研究・教育を行うための研究学園都市として、併せて東京への過密な人口集中の緩和を目的とした田園都市として、計画的に整備が行われてきた。建設にあたっては、新住宅市街地開発事業等の全面買収による開発など、国主導によるまちづくりが行われ、「計画標準」や「景観審査会」などによる開発誘導によって、通常の民間主導の開発ではなし得ない都市環境が創出されたが、研究学園都市の概成から35年以上が経過し、中心市街地の求心力の低下、国家公務員宿舎の削減、都市基盤の老朽化や時代のニーズに合わないなどの課題が出てきている。そのため、中心市街地活性化のための回遊性の向上や、定住促進のための住環境エリアの安全性及び快適性の確保を目標とする。 また、市内の土地区画整理事業区域内では、宅地分譲に伴い住宅建設が増加傾向にあり、着実に人口の増加が続いている状況にあるが、住民の憩いの場となる公園や緑地の整備が遅れているなどの課題が出てきている。そのため、公園の整備と緑の拠点となる都市緑地の維持保全により新たな自然環境を整備することで、市民の憩いの場を創出するとともに、土地区画整理事業区域内の都市公園の整備推進を図ることを目標とする。													
全体事業費（百万円）	合計（A＋B＋C＋D）		509	A	509	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A＋B＋C＋D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		(R 3 当初)		(R7末)
1	一人当たりの都市公園面積を9.05㎡/人から9.17㎡/人に増加させる。			
	つくば市の都市公園の供用面積を都市計画区域人口で除して算出する。	9㎡/人	㎡/人	9㎡/人

備考等	個別施設計画を含む	－	国土強靱化を含む	－	定住自立圏を含む	－	連携中核都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－

A 基幹事業																				
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
都市公園・緑地等事業	A12-001	公園	一般	つくば市	直接	つくば市	－	－	つくば市都市公園事業（ 上河原崎・中西地区1号 近隣公園）	用地取得（公共施設管理者負担金） A=2.0ha	つくば市	■	■	■	■		509	1.7	－	
												小計						509		
												合計						509		